

かつやま 3月定例会報告

議会だより

2024.4.25
No.91

代表・一般質問……………P 2
委員会報告……………P 7
審議結果……………P11



春季消防訓練分列行進



○メディア・情報リテラシー教育について ○水上市政の現状と課題について

その他の質問

- ・令和6年度当初予算（案）について
- ・災害時における避難所等について

吉田将克
議員



新風会・公明

ICT化により、膨大な情報の中には、誹謗中傷や偽・誤情報、ディープフェイクも含まれているなどの問題も顕在化している。勝山市は、学生にメディア・情報リテラシー教育についてどのように取り組まれているか。また、成人にはどのように取り組まれているか伺う。

児童生徒に1人1台端末が導入されてからは、デジタル社会の担い手として、ネットやメディア等を含めた端末の利用に関する正しい知識やスキルを身に付け、責任をもって端末を有効活用できるようにするための支援を行う「デジタルシチズンシップ教育」を推進し、対面でもネット上でも良好な人間関係を構築する力がつくよう努めている。また、警察の協力を得て、インターネットを利用する上での危険性を学ぶ、「ひまわり教室」を毎年実施している。成年層は教育機関との接点がないこと、公開講座を開いても来ないなどの課題があり、総務省では令和6年度に、若年層、成年層、高齢層の3つの年齢層ごとに教育コンテンツの開発、届け方を検討していきたい。

討する予定となっており、市でも結果を踏まえ必要な施策を行っていききたい。

勝山市にはどのような課題があり、どのように解決していくのか伺う。

喫緊の課題として、人口減少対策、防災対策、そして地域コミュニティの維持の3つを考えている。

人口減少対策については子ども医療費の完全無料化、保育料の完全無償化、中学校における自校式給食、こども会館、こども公園の整備など子育て支援策をはじめ、不妊治療の無償化、不育症診断・治療費無償化、結婚支援等充実していきたい。防災対策については、屋根雪下ろし用のアンカー助成や住民主体による防災マップの作成支援事業など自助、共助体制の強化を進めながら、災害対策本部、避難所の強化など防災対策に取り組んでいきたい。地域コミュニティの維持については、まちづくり会館を地域福祉の拠点として位置づけ、地域住民の移動手段を確保し公助、共助、自助の連携による地域コミュニティの維持に努めていきたい。



○能登半島地震災害から見えてきた課題について

その他の質問

- ・プラスチック資源ゴミを出す指定ゴミ袋導入について
- ・ペット同伴の宿について
- ・タクシー事業への支援について
- ・「給食ナビ」の導入について

下道恵子
議員



市政会

避難所における課題について

令和6年1月1日の能登半島地震の避難所においての課題の一つに妊婦さんや乳児連れのお母さんの衣類等や離乳食がある。妊婦さんらのプライバシー対応も必要。そして断水による簡易トイレの代替えに水洗の「トイレトレーラー」そして長期化避難生活による感染症のリスクを低くする「水循環型屋外シャワー」の備品導入について市の見解を伺う。

能登半島地震で得た知見を生かし、必要な備品については各家庭での準備も働きかけながら、市が各避難所にしっかりと一定数は備蓄をしていきたい。また、更衣室や授乳室といったプライバシー対策としては、ワンタッチテントを避難所に備蓄している。地震の災害時には、長期避難が想定され、トイレトレーラーや水循環型屋外シャワーの重要性についても十分に認識をしているため、過去に地震で被災した全国の自治体の備蓄状況を踏まえ検討する。

地域コミュニティの存続について

輪島市など地震被災地では、共助の意識があっても高齢化で稼働できなくなっていると聞いた。勝山市も現在抱えている問題だ。災害ばかりでなく地域の行事も人数不足で難しくなってきた。この現状に対する市の考えを伺う。

全国的に急速な人口減少、少子高齢化が進行し、市においても、地域の担い手不足が深刻化している。課題に合わせ区長会や各まちづくり団体と協力し、まちづくり会館を拠点とし、小規模多機能自治会をイメージしながら、地域活動の核として強化していきたい。人材面のサポートとしては、地域担当職員やまちづくり会館の職員を含め、全職員を対象に研修を開催し地域をサポートできる体制づくりや意識改革の取り組みを実施している。区の課題や解決策は住民の方1人1人が当事者意識を持って取り組みを行わないと難しいのが現状であり、区長会や各区長さんと話をしながら、不安解消に努めていきたい。



○ 新中学校再編計画について
○ 新中学校再編計画、対案について

その他の質問

- ・企業誘致について
- ・能登半島地震に伴う福祉避難所開設について



森かよ子 議員
優政一心会

議 連携クラスとして発展学習（先取り教育など）を行う内容で県から承諾を得たが、現在、連携クラスはなくなっている。県に照会した内容に変更があった場合、このまま建設を進められるのか伺う。

理 再編計画の策定後、基本計画を検討する中で、現場の教員をメンバーとするワーキングチーム会議において協議を重ねた。新中学校においては、県内の越前地域や美浜・若狭地域のように連携クラスを単独の学級としては設置せず、中学3年生全員を対象とした高校教員によるサポート授業を行うといった形態で、中高連携を進める方針として、県教育委員会には、基本計画案の進捗状況の報告の中で説明させていただいている。

より具体的な内容や進め方については、今後さらに検討を進めて、県教育委員会とも詳細に協議をしていく。

議 中部中学校案より勝山高校案が望ましいと思われる具体的な見解、また市民の要望を受けて統廃合の検討を進めたならば、市民の要望で立ち止まって検討できないか伺う。

理 再編検討委員会の答申において勝山中部中学校敷地案と勝山高校併設案について述べられており、少子化の進行が見込まれる勝山市での教育のあり方を鑑み、中学校の統合にあたっては高校に近接した環境の中で、中高連携による質の高い教育の推進や教員の交流による意欲・資質の向上など、中学・高校の生徒・教職員双方にとってメリットが多く考えられることを踏まえての判断であったとらえている。

また、立ち止まって検討できないかについては、勝山市立中学校再編検討委員会の答申を踏まえ、市議会をはじめ市民の皆様のご意見等を踏まえた協議を積み重ねて再編計画及び基本計画を策定し、現在、開校準備を進めているところであり、できるだけ早く子どもたちに良い教育環境を提供できるよう努めていきたい。



○ 中学校再編計画について
○ かつやまWakuWaku文化フェスタについて



浦上雄次 議員
優政一心会

議 部活動など、定時以外のバス利用について、部活動に参加して帰りのバスに乗れない生徒は家用車の迎えになるのか。朝夕定時以外での運行が必要な場合はどう対応するのか見解を伺う。

理 子どもたちが安全安心に登下校するための移動手段については、路線バスを活用したスクールバスの運行を検討している。現在、市内各地区からそれぞれ朝1便、夕方2便を運行することを想定しており、今後、市内10路線のルートや発着時間などを各地区の状況を確認しながら検討していく。帰りのバスの便については、現在のところ、放課後学校で活動をしない生徒、部活動などの活動をする生徒がそれぞれ下校できるよう、出発時間が異なる2便を想定している。定時定路線で運行する形となるため、部活動終了時刻を順守し、乗り遅れることが無いように配慮したい。また、日中においては、令和9年度までにフルデマンドバスを導入する予定であり、急な遅刻や早退をする生徒がいた場合も柔軟な対応が可能となる。

議 ジオアリーナでの演奏や講演、市民会館での芸能発表の中で、音響についての要望が市民アンケートや文化協会からも出ていた。マイクなど使う楽器に対しては特に最低限の音響設備とオペレーターが必要となる。演者だけでなく来場者も楽しみにしている演奏やパフォーマンスが音響の不備によって台無しになる場合がある。このようなことを踏まえ、次年度の開催に向けて音響の準備や対策について市の見解を伺う。

理 来年度は奏者の方々とともに素晴らしいステージを作り上げられるよう、適切な音響の調整や機材の確認を行うとともに、リハーサルを念入りに実施し、本番でのトラブルがないよう努めていきたい。完璧な音響を要求するものについては、市民会館のホールがいいと考えている。また、市民会館並みの音響がなくても、ジオアリーナで大勢の人に聞いてもらえるような形で演奏していただけるよう、奏者の方と事前に確認を取りながら実施したいと考えている。



安岡孝一
新風会・公明
議員

○賃金の引上げについて ○いわゆる「はざま」の人に対する給付金について



その他の質問 ・子育て支援について

議 現在の経済対策として物価高騰対策と賃金の引き上げが最重要と考える。賃上げが実現するためには、適正な価格転嫁が行われ、賃上げのための原資が確保され、所得が増えて成長していく好循環を生み出さなければならぬ。当市においても中小企業が適正な価格転嫁を行えるような機運を醸成していくことが求められている。今後の当市の取り組みを伺う。

理 市内の事業者の中には、労働組合等の組織のない事業所が多いため、勝山版政労使会議の枠組みにとられず、市内事業所に賃上げや価格転嫁が図れるよう、商工会議所を通じ働きかけや関係機関とともに定期的な企業訪問等により実態把握も努めた。また、福井労働局や福井県、勝山商工会議所等と連携し、賃上げに取り組む企業に対する業務改善助成金等の国の支援制度や、中小企業が従業員に支給した給与を一定以上増加させた場合に受けられる、中小企業向け賃上げ促進税制等の周知を行うことで、賃金引き上げの実現を後押ししていきたい。

議 定額減税と給付金の恩恵が十分に受けられない「はざま」の人について物価高で大きな影響を受けていることも考慮して、「1人当たり4万円の定額減税と比べて遜色のない給付水準を確保することが大事だ」と言われている。特に、子育て世帯については卒業・入学シーズンで出費が重なる時期であるため、住民税均等割のみ課税世帯と併せて年度内に十分な金額が支給できると準備を進めていただきたいが市の見解を伺う。

理 いわゆるはざまの方、世帯に対する給付金は、令和5年12月22日に閣議決定され、先に決定していた住民税非課税世帯への給付金のほかに、はざまとして住民税均等割のみ課税世帯への給付金や、住民税非課税世帯や住民税均等割のみ課税世帯といった低所得世帯の高校生3年生以下の児童に対することも加算が示されている。この2点について、できるだけ早く給付するため、対象と想定される世帯に申請書を送付し、3月15日に最初の口座振込をし、4月末日には最終の口座振込を予定している。



竹内和順
新風会・公明
議員

○新中学校の統合・建設について



その他の質問
・能登半島地震から学ぶもの
・人口減少対策について

議 路線バスをスクールバスとして利用するとは、最初からの構想であったのか、運営形態はどのようにするのか、地域のニーズに合った合意形成が必要ではないか、国補助の専用スクールバス購入の予定はないのか市の見解を伺う。

理 令和4年度から設置した再編準備委員会のPTA部会では、生徒の登下校の移動方法について、市内の勝山市地域公共交通計画をもとに直行方式とハブ方式の協議をスタートした。しかし、全国的なバス運転手の人材不足が大きな問題として取り上げられたことや現在運行している市内の路線バスの利用状況を踏まえ、今年度に入って朝夕の時間帯に路線バスを新中学校の生徒たちが通学に利用することができないかを検討することとした。路線バスの運行協議に関しては地域公共交通協議等の組織があるので、各地区からのご意見等を踏まえ、より良い運行形態を実現していきたいと考えている。

議 自校式給食とはどのような運営形態を考えているのか。また、保護者・生徒、教職員が望まれる自校式給食とはどのような形態と捉えられていたのか見解を伺う。

理 自校式給食とは各学校がそれぞれの調理室と専属の職員を学校内に配置して、その学校の児童生徒に出来立ての温かい給食を提供するというシステムであり、その運営形態については、昨今の調理師不足を鑑み、調理業務は外部に委託し、委託先の調理師が校舎内の給食室で調理することなども含めて検討していきたい。学校給食については、子どもたちが地元で生産するおいしいお米や野菜などを食べることで、また、地元の農業や水産業について身近に感じながら食べてもらえるような工夫をしていきたいと考えている。



○ 勝山市の経済の今後について

市議会
帰山 寿憲
議員



議 勝山市の経済の見込みについて今後3年間の投資見込みとそれに伴う経済効果及び賃金のあり方について伺う。

理 公共投資により見込まれる経済効果は令和6年度から令和9年度にかけて、様々な建設事業が予定され、国、県、市そして民間事業者の資金が投入される。県が提供している福井県経済波及効果分析ツールを使用して計算すると、200億円の投資に対する投資額を含めた県全体の経済波及効果額は29.4億4,000万円となり、これを勝山市に置き換えると、勝山市全体の経済波及効果額は2.53億6,000万円と試算することができる。

アパートの建設、飲食店が非常に重要になり、利用等の経済効果がある。飲食についてはキッチンカーの活用とともに、道の駅の周辺に飲食スペースをもっと設ける必要があるのではないか、あるいは大学の学生に供するための飲食をどう提供するかをしっかりと考えたい。

市内事業者の活性化が市全体の活性化につながることは十分認識しており、今後事業所や商工会議所と協力しながら、地元経済に波及する施策を考えていきたい。

勝山市の雇用と賃金、その確保については、勝山市と福井労働局及び勝山商工会議所と連携し、雇用対策協定運営協議会を設置している。この中において奥越地区の雇用状況や、国の新たな状況、対策等について協議をしながら情報共有、検討、問題提起などを頻繁に行っている。今後も福井労働局、商工会議所等と連携しながら、雇用の確保、賃金の上昇について取り組んでいきたい。

県立大学恐竜学部(仮称)の建設を例に上げると、直接の投資、建設に係る様々な費用、さらにはバスの運行や、



○ 新中学校再編にかかる立地場所の根本的内容とその議論について
○ 勝山まちなか観光の未来図について

優政一心会
富士根 信子
議員



議 ハザードマップの土砂災害特別警戒区域や浸水実績区域の近隣に建設を強行する理由について、及び市民の理解を求めるために勝山高校敷地内建設の内容説明だけではなく、敷地内に建設する理由と併設の話し合いの場を設けない理由について伺う。

理 近隣に土砂災害特別警戒区域や浸水実績区域があるとのことでご心配いただいているが、新中学校の建設場所は制限のある場所ではなく、建設は勝山高校の併設で進め、災害に対する対策や避難時の行動など、防災の強化に向けてしっかりと対応していきたい。

市民が勝山の環境や伝統、歴史、文化を学ぶ機会を設定し、頭と身体をつかい、健康な人生を楽しめるようにするために観光健康ウォーキングコースなど勝山駅を拠点として、案内板や観光トイレの設置、歩道の整備などを行い、勝山市内観光として様々な団体の協力を得て取り組んでどうか。勝山まちなか観光の未来図をどのように描いているか市の見解を伺う。

勝山市の魅力を来訪者に知っていただくためには市内の地域資源を多くの市民の方々に知っていただき、魅力に触れ、理解していただくことが重要であると考えており、各種団体の方々との連携を図っていききたい。併せて見学会などへの一層の参加者確保、事業の改良や充実を図りつつ、事業自体、広く広報していきたい。

今後勝山市、商工会議所、DMO法人勝山市観光まちづくり株式会社、勝山観光戦略協議会、民間事業者との協働によるまちなか誘客について検討していきたい。

論を改めて問う場を設けることは考えていない。



山田安信 議員
日本共産党

○連携型中高一貫教育の実施を決めた「勝山市立中学校再編計画」が、説明もなく変更されたことについて
○病児保育園の問題について



その他の質問・福島原発事故と能登半島地震を経験しても、若狭湾の原発を推進する異常さについて ・組織的な犯罪の疑いがある、自民党内の違法な裏金問題について

【議】 ①中嶋教授は、中3全員に英数のサポート授業では、連携型中高一貫教育には該当しないのではないか指摘された。県教育委員会は、勝山市の計画を「県が実施している連携型中高一貫教育に該当する」と認めたのか。

【理】 ②文科省の「中高一貫教育Q&A」は、中高一貫教育は「複線化」と「選択的」が条件だとしている。「中3全員サポート授業が中高一貫教育」なら、生徒や保護者が「中高一貫教育は望まない」という選択肢は無く、校舎も共同利用。しかも勝高敷地以外の場所があり、再検討を求める署名もある。勝山市の計画は、中高一貫教育の諸条件に違反していないか。

【理】 ①全クラスでサポート授業をすることにについては、県内3地域の実施形態とは異なるものと考えているが、県に基本計画案を説明した折には、先取学習について質疑があり、サポート授業の中で検討していく旨、答えている。中高連携教育の効果的な実施等については、今後、県との協議を通して、中高生にとってより良いものとなるよう努めていく。

【議】 ②勝山は連携型の中高一貫教育で、中学校は1つになるが卒業後に進学する高校の選択は自由であり、授業は基本的に中高それぞれの学習指導要領に沿って実施するため、議員のご指摘にはあたらない。

【理】 医師会が提出された「陳情」は、医師会などの協議・協力の依頼が一切なく、突然の通達で混乱をきたしている」と指摘している。これは事実なのか、医師会などの協議や協力は必要ないと考えているのか。

【理】 病児保育事業の実施は、市が認可するものではなく県への届け出により開始できるものである。病児保育事業の実施検討にあたり、各実施予定事業者と事前協議を行ってきた。勝山市医師会へは2月19日に直接、事前説明を行っている。病児保育は対象の児童がかかりつけ医で受診した後、保護者と協議の上、受け入れの決定をするため、地域の医療機関との連携は不可欠であると認識している。今後も医師会と協議していきたい。



近藤栄紀 議員
市政会

○能登半島地震について
○高齢者の交通手段について



【議】 住宅耐震化の促進について当初予算案では、463万5,000円計上されているが、わざわざ能登半島地震を受け」と前置きをしている。この予算額の根拠を伺う。

【理】 予算額の根拠として、昭和56年5月以前に建築された木造住宅に対する耐震診断及び耐震改修プラン作成が46万円。耐震診断及び耐震改修プランに基づく耐震改修に対しては、全体改修で県の補助制度の拡充により120万円が150万円。部分改修に30万円。伝統的民家等はこれまでの補助限度額を237万5,000円に引き上げ、合計463万5,000円となった。

能登半島地震以降、市民から木造住宅の耐震に関する問い合わせが14件あり、関心の高さがうかがえる。令和6年度からは耐震改修工事の補助限度額及び補助率も引き上げを行うとともに、補助件数についても希望者全ての希望が叶えられるよう、柔軟な対応に努め、住宅所有者の費用負担を少なくする財政支援の強化を行うため、しっかりと議論を行い、形にしていきたい。

【議】 高齢者の交通手段について、コミュニティバス利用客の主な行先は病院、買い物だと思ふ。特に買い物は高齢者にとって重たく苦痛である。スーパーなどで購入した製品を無料で配送するサービスの支援を検討してはどうか市の見解を伺う。

【理】 高齢者の買い物支援は、介護保険サービスにおける訪問介護や有償ボランティアなどを利用して買い物代行する方法、移動販売車や宅配サービス、インターネット通販などを利用して高齢者の方自身が買い物をする方法などがある。また、勝山市においては、平泉寺地区、村岡地区において、送迎付きの買い物支援サービスも実施している。購入した商品を個別配達する事業者に対して、配達料の一部を助成している自治体もあり、今後は、他自治体の取り組みも参考にしながら、高齢者の方のニーズにあわせて買い物支援の方法について研究していきたい。



○ 移住促進・人口増加政策について
○ 自伐型林業の推進について

その他の質問

・勝山市立中学校再編計画について

李 江嵐 議員
優政一心会



勝山の企業を紹介する「いんとろ」や豊かな自然環境を感じる登山情報と観光情報が掲載されている「勝山日和」など、とても良いページがバラバラに存在している。ダイレクトに魅力と情報伝わるよう、分かりやすいリンクサイトに作り変える必要がある。移住希望者向けのイメージ戦略に対する見解を伺う。

また、オーダーリフォームの支援制度を設けることを検討してみたいかがか、市の見解を伺う。

移住希望の方には、勝山市を知っていただき、魅力を感じていただくことが非常に重要だと考えている。その情報発信の1つが勝山市移住定住支援ポータルサイトであるが、サイトの構造上リンク先が多く、情報を探しやすいページとは言い難いため改善するよう努めていきたい。

市が戸建て定住賃貸住宅を保有することには限度があることから、移住・定住者による空き家の購入及びリフォームに対する補助制度により対応していく。

県内の自伐型林業大学校は令和5年度開始事業であるため、現在の条件は限定的な方への補助になってしまう。経験値によっては条件をクリアできるなど、弾力的な対応を可能にするものであるべきだと考えるが、条件設定や3年間の期限を設けた理由を伺う。

また、自伐型作業道の支援制度を設けることへの見解を伺う。

自伐型林業大学校では基礎知識や技術力、更に実践研修、特に事故を起こさないための知識と技術について重点的に教えている点及び個別相談や施業地での悩み事に対する助言を行っている点を評価している。補助期間は新規就農者経営支援事業補助金を参考に3年とした。

また、自伐型作業道の支援は、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活用をアドバイスしたい。自伐型作業道の支援は、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の利用と本事業の利用も可能となっている。

特別委員会報告

新中学校建設特別委員会

2月8日、19日、27日に開催した特別委員会では、新中学校の制服・体操服の選定や校名の選定について、また、1月から2月に開催された「新中学校建設開校に向けた説明会」の実施状況についてなどの報告を受けました。

さらに、勝山市立中学校建設基本設計について議論し、屋根付きの通路への雪の吹き込みや除雪方法、地下横断歩道の安全性、給食調理室の位置や食材等の搬入経路、スクールバスの運行方法や乗降場所など多岐にわたる意見がありました。特に、東西に2カ所設置する設計となっている「大階段」については委員から様々な意見が出され、その必要性や有効性などについて議論しました。

そして、3月定例会中の委員会では、議案1件、陳情1件が付託され、慎重に審査をいたしました。その結果、議案1件は可決することに、陳情1件につ

いては一部採択とすることに決しました。

今後も勝山市の将来を担う子どもたちがのびのびと学び、また、子どもたちが主体性をもって様々な活動ができる安全安心な学校施設が整備できるよう議論を重ねていきます。



総務文教厚生委員会

審査の結果、議案21件については全て可決し、陳情1件を採択しました。

◆ 陳情第10号 陳情書 (病児保育施設の新設の件)

医師会との十分な協議が行われていなかったことについて、委員からは指摘の声が上がりました。一方で陳情事項には、実行が難しい内容も含まれているという意見もありました。

採決の結果、採択とすることに決しました。

◆ 勝山市介護保険条例の 一部改正について

介護保険料率及び保険料の減免申請期日の見直しについて審査しました。

保険料率については1号保険料の基準月額を5,600円、保険料段階を13段階とし、多段階化された高所得者の乗率を引き上げ、低所得者の乗率を引き下げます。

委員からは今後の少子高齢化に

伴って介護保険制度の運営が厳しくなるのではないかなど、意見がありました。

◆ 結婚支援・子育て支援について

令和6年度の施策には結婚支援及び子育て支援に多くの施策が打ち出されました。特に子育て施策についてはこれまでも手厚い市独自の取り組みが行われてきましたが、委員からは少子高齢化の対策として、市民性等を勘案した更なる勝山市独自の取り組みに期待する声が多くありました。

◆ 低所得者支援及び定額減税補足給付金

デフレ完全脱却のため、物価高により厳しい状態にある生活者支援が行われます。

委員会では低所得者支援給付金と定額減税補足給付金について説明がありました。

委員からは、特に高齢の方の中で申請が滞る市民がいることを危惧する意見があり、丁寧な対応を求める要望がありました。

建設産業委員会

審査の結果、議案9件については全て可決し、陳情1件を趣旨採択しました。

◆ 令和6年度 勝山市下水道事業会計 予算

これまで別々の特別会計であった公共下水道事業と農業集落排水事業が令和6年度より1つの公営企業会計に移行することが説明されました。

下水道事業の経営見直しでは、

令和8年度までの3か年は赤字となる見込みであることから、3か年はこれまでどおり一般会計からの繰入金で対応しますが、令和6年度に経営戦略を策定、その後料金制度審議会を開催し、令和9年度以降の下水道事業の経営についてしっかりと検証を行う旨の説明がありました。

委員からはこれまで行ってきた事業を丁寧な精査し、今後の下水道事業会計においては、適正な事業運営を行うようとの意見があ

り、採決の結果、原案を可決することに決しました。

◆ 令和6年度 勝山市市有林造成事業 特別会計予算

議案第70号ですが、雁が原スキー場ゲレンデ跡地の今後の活用についての説明がありました。

これについて委員からは、事業の執行にあたっては議会と事前協議の上、了承を得て予算執行することを求めるとの意見が多くあり、採決の結果、原案を可決することに決しました。

◆ 陳情第9号 最低賃金の大幅な改善を 求める陳情書

陳情内容の趣旨に理解を示す委員が多数でありましたが、勝山市の現状等を踏まえ本陳情を採択とすることは難しいなど、様々な意見が出されました。

採決の結果、趣旨採択とすることに決しました。

予算委員会

今定例会の審査結果

令和6年度勝山市一般会計予算と令和5年度勝山市一般会計補正予算(第8号)及び令和5年度勝山市一般会計補正予算(第7号)に関する専決処分の承認を求めることについての審査を行いました。

毎年、3月定例会の予算委員会では、新年度予算の審議を行うため、議論が白熱します。

ここでは、特に活発であった案件を取り上げて報告します。

不妊治療費助成金

500万円

不妊症検査及び治療に係る自己負担費用を全額助成する。

委員▼東京や大阪の県外の病院へ通院した場合、電車等の交通費の負担が大きいのが交通費の助成はないのか。

理事者▼私的利用との区分ができないため、交通費の助成は考えていない。

新規・不妊症治療費助成金

48万円

不妊症検査及び治療に係る自己

負担費用を全額助成する。

委員▼新規事業であるが、どのように周知するのか。

理事者▼ホームページ等で周知していく。

新規・手話通訳者謝礼

20万円

手話に対する理解の促進及び手話の普及を図り、全ての市民が相互に理解し、安心して暮らすことができるよう、市内で開催されるイベントにて手話通訳を行う。

新規・手話奉仕員養成講座の開催

54万3,000円

手話通訳者及び手話奉仕員の登録者拡大を目指し、手話奉仕員養成研修(令和6年度入門編、令和7年度基礎編)を開催する。勝山市における登録者は、手話通訳者6名、手話奉仕員14名である。

新規・福井県立大学恐竜学部(仮称)学生向け賃貸共同住宅建設事業補助金

960万円

福井県立大学恐竜学部(仮称)の学生が、市内で居住するための賃貸集合住宅を新築する個人及び

法人に対し、建設費の一部を助成する。

《補助金額》①建設費の10%(上限100万円/戸) ②居住誘導区域内又は都市機能誘導区内の場合 ①の金額に20万円上乘せ

《補助金の支払い》①竣工時 補助金算定額の1/2 ②学生入居時 補助金算定額の1/2

結婚支援事業

〈結婚新生活支援事業〉

若い世代の新婚世帯のスタートアップ最大100万円や生活を支援する。

〈地域結婚支援重点推進事業〉

民間の婚活アドバイザー等を活用し結婚相談、婚活セミナー及び出会いの場を目的とした男女の交流イベントを開催する。

保育料無償化事業

〈保育園認定こども園を利用する方への支援として〉

令和6年9月より第一子から所得制限なしで保育料を完全無償化する。国の徴収基準から軽減総額約1億500万円/年

医療人材確保奨励金交付

50万円

勝山市の医療機関に新たに勤務した医療従事者に一人につき3年で30万円交付する。

委員▼医療人材の確保には交付金は少ないので拡充して欲しい。

新規・中学校建設

令和6年度

14億2,292万円

新中学校建設に関わる予算として14億2,292万円が計上されていることに対し、活発に議論されました。

委員▼地下通路の積算はどうなっているか。積算もわからないのに、予算を認めることはできない。議員は図面をみたことがないが、設計は終わっているのか。

理事者▼設計は終わっている。図面を見られるように用意する。(図面配られ、説明を受ける)

理事者▼図面は見ての通りで、問題なくできている。設計については委員からも様々な指摘を受けており、大階段部分においては変更の余地があると考えている。
委員▼そもそも、大階段を一つにするか判断するためのカリキュラムや連携が不透明である。

委員▼今のまま2つでいいと思う。
委員▼2つは必要ない。大階段は一つでいい。

委員▼そんな変更をしてスケジュールが間に合うのか。
理事者▼設計の変更には1ヶ月程度の猶予は用意できる。構造に関わる部分でなければ、期間内に變更してスケジュール通り計画を進められる。

委員長▼そのような変更に関する議論は特別委員会にて行うことにする。

林業振興諸経費

2,707万円

令和6年度から新規事業として「高性能林業機械レンタル支援事業負担金」と「林業機械レンタル等事業補助金」、「自伐型林業者育成支援事業補助金」が設けられた。従来の林業に加え、自伐型林業の支援事業も行えるようになった。中でも「自伐型林業者育成支援事業補助金」は全国的にも見られない包括的な支援がされており、一般的な事務手続きの煩雑さが緩和されている点で評価できるが、作業する山林の確保や補助対象期間が終了する3年以降の対応が課題となる。

農業振興諸経費

9,727万円

新規事業として「青果市場建設事業補助金」を設け、道の駅隣接地に整備する市場の建設費用の一部を助成する。新しく建つ青果市場には、青果市場としての機能だけでなく飲食物販の機能も設けられる予定である。

新規・旧ホテル勝山解体事業

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部が改正されたことで、特定空き家の解体工事を代行できるようになったことを背景に、放置されていた旧ホテル勝山の解体工事を行うこととなった。解体後は更地にして競売にかけて、売れなかった場合は分割することも検討していく。

◆市制70周年を市民一体と なつて祝い楽しむ

新規・市制70周年記念事業費

予算額 824万円

市制施行70周年を迎えPRキャンペーンを展開するとともに、市民が参加する様々な活動やイベントを実施していきたい。市民が一体となり、祝い楽しむことで勝山市への愛着を深めていきたいと説

明があった。

委員▼夏の時期に開催されるイベントは暑さ対策など大丈夫なのか。

理事者▼できる限りの対策を整えてイベントを実施、支援していきたい。1年を通して70周年の勝山市を市民とともに盛り上げていくようしっかりと準備していく。

◆有害鳥獣による農作物被害への対策

鳥獣害対策事業費

予算額 715万3,000円

農林水産物に影響を与えている野生動物の捕獲。猟友会に捕獲、止め刺し、運搬の事業委託。二ホンジカのメス及び幼獣を捕獲した場合同じく、県からの補助金について理事者から説明があった。

委員▼今年もクマの出没など予想されるが、果樹の伐採以外にどんな対策があるのか。目の前に現れた場合の対処など市民への周知や訓練はこれからどうしていくのか。

理事者▼果樹の伐採に関しては補助金などもあるので活用していただきたい。クマ対策に関しては市民への周知や訓練を強化していく。農地への侵入などもワイヤーメッシュ柵整備に対する助成など、より一層鳥獣害に対しての課題を解決していきたい。

◆観光素材の魅力アップにつなげる取り組みについて

観光PR推進事業費

予算額 1,094万5,000円

魅力ある観光情報を発信する等の市外、県外へのPRに取り組むことによる観光客の誘客促進を図る。

(主な内容)

1. 鯉のぼり事業（勝山の春の風物詩「弁天河原の鯉のぼり」を令和6年度も開催）
2. TGRラリーチャレンジ開催支援負担金（TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジを開催）
3. 御開帳記念賑わい創出事業☆新規平泉寺白山神社三十三式年祭（御開帳）を記念して、市民参加による賑わいを創出するとともに、平泉寺の魅力在市内外に広く発信して誘客を図る。



GR TOYOTA GAZOO Racing Rally challenge
 恐竜 勝山 開催決定!
 KYORYU KATSUMAMA

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案

■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第63号	令和6年度 勝山市一般会計予算	予 算	可 決
★	議案第63号「令和6年度 勝山市一般会計予算」の修正案	—	否 決
議案第64号	令和6年度 勝山市国民健康保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第65号	令和6年度 勝山市後期高齢者医療特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第66号	令和6年度 勝山市介護保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第67号	令和6年度 勝山市育英資金特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第68号	令和6年度 勝山市下水道事業会計予算	建設産業	可 決
議案第69号	令和6年度 勝山市水道事業会計予算	建設産業	可 決
議案第70号	令和6年度 勝山市市有林造成事業特別会計予算	建設産業	可 決
議案第71号	令和5年度 勝山市一般会計補正予算（第8号）	予 算	可 決
議案第72号	令和5年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	可 決
議案第73号	令和5年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可 決
議案第74号	令和5年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	可 決
議案第75号	令和5年度 勝山市育英資金特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議案第76号	令和5年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	建設産業	可 決
議案第77号	令和5年度 勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	建設産業	可 決
議案第78号	令和5年度 勝山市水道事業会計補正予算（第3号）	建設産業	可 決
議案第79号	令和5年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算（第2号）	建設産業	可 決
議案第80号	勝山市職員定数条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第81号	勝山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第82号	勝山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第83号	手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第84号	勝山市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第85号	勝山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第86号	勝山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第87号	勝山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第88号	火災予防条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第89号	勝山市母子父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第90号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第91号	勝山市監査委員条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第92号	勝山市営住宅管理条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第93号	勝山浄化センターガス貯留タンク改修工事業務委託に関する協定の変更について	建設産業	可 決
議案第94号	令和5年度 勝山市一般会計補正予算（第7号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議案第95号	就学支援委員会条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第96号	勝山市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について	新中学校建設	可 決
議案第97号★	勝山市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	—	可 決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	異議がない
意見書案第2号★	最低賃金の大幅な改善を求める意見書	—	可 決
	福井県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙		

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳情第8号	中学校を高校のグラウンドに建設する計画を凍結し、中学校のあり方の再検討を求める、陳情書	新中学校建設	一部採択
陳情第9号	最低賃金の大幅な改善を求める陳情書	建設産業	趣旨採択
陳情第10号	陳情書（病児保育施設の新設の件）	総務文教厚生	採 択

◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総投票数	投票数		李江嵐	吉田将克	浦上雄次	森かよ子	安岡孝一	富士根信子	竹内和順	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	帰山寿憲	山田安信	松山信裕
		賛成票	反対票														
議案第63号修正案	13	6	7	○	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	議長
議案第63号	13	8	5	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第64号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第68号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第69号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第96号	13	8	5	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳情第8号	13	7	6	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	議長

○=賛成、×=反対、=不在、除=除斥、議長=議長職（通常は採決に加わらない）

小笠原入封333年と勝山城址之碑

江戸時代に勝山の地を治めたお殿様、小笠原氏がこの地に入り、今年で333年目の記念の年になります。

小笠原氏は、元禄4年（1691年）に美濃国高須（現在の岐阜県海津市）から勝山の地に入り、今の市役所の場所に城郭を築きました。城郭の南側には武家屋敷、七里壁の下には町屋を整備し、今の町の原型が形作られました。

今年、9月15日（日）に天守台のあった市民会館で、勝山藩主の菩提寺「開善寺」の保存と活用を考える「本家勝山小笠原の会」が中心となり、小笠原氏の格式を讃える長柄節の復活に携わる長柄会や有志の方々の協力のもと、各種イベントを予定しておりますので、市民の方のご参加をお待ちしております。



「勝山城址之碑」

（富士根 信子 記）

議会日誌

1月26日 全員協議会、建設産業委員会	15日 新中学校建設特別委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会
31日 勝山左義長ばやし保存会新年会・名誉会員と語る会	16日 ハピラインふくい開業記念出発式、北陸新幹線・ハピラインふくい開業祝賀会、北陸新幹線開業式典 福井駅出発式
2月 1日 全国高速自動車道市議会協議会正副会長・監事・相談役会議・理事会・総会	17日 20歳のつどい
3日 北陸新幹線 金沢-敦賀間開業試乗会	18日 さくら植樹会
5日 福井県市議会議長会定期総会	19日 かつやまディノパーク パワーアップオープン
8日 議会運営委員会、新中学校建設特別委員会	21日 議会運営委員会、全員協議会、本会議
9日 市制70周年記念事業実行委員会	23日 野向保育園閉園式、平泉寺保育園閉園式、食生活改善推進員総会、健康推進員総会
16日 議会運営委員会、勝山市防災会議	25日 勝山・永平寺衛生管理組合議会
17日 谷の「お面さん祭り」	26日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会
19日 全員協議会、建設産業委員会、新中学校建設特別委員会	29日 新中学校建設特別委員会
20日 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	4月 2日 市制70周年記念事業実行委員会
24日 勝山左義長まつり一番太鼓式典、勝山左義長まつり各コンクール表彰式	6日 市民体育大会総合表彰式及び懇親会
27日 本会議、全員協議会	7日 勝山市茶道連合会創立35周年記念茶会
29日 勝山市高齢者連合会ふれあいまつり	8日 春の交通安全県民運動、議会広報特別委員会
3月 5日 本会議（代表質問・一般質問）、議会運営委員会	10日 新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
6日 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	12日 市制70周年記念事業実行委員会
7日 予算委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会、本会議	13日 春季消防訓練
8日 総務文教厚生委員会	15日 議会広報特別委員会
11日 建設産業委員会	16日 さわやか大学開講式
12日 全員協議会、総務文教厚生委員会、予算委員会	19日 勝山市医師会定時総会
13日 予算委員会	23日 長野県東御市行政視察受入、北信越市議会議長会定期総会
14日 予算委員会	

編集後記

春爛漫の折、令和6年度も本格的に始まり多くの方が新たな一步を踏み出す中、勝山市議会においてもより良い議会を目指す上で会派からの離脱や会派解散を経て、新たな体制となりました。体制は一部変わりましたが、令和6年度も勝山市の未来を明るくものとして創造していくべく、また2元代表制の本義を果たすべく励んでまいります。

「議会だより89号」から一般質問のページにそれぞれの議員の一般質問の様子が見られるQRコードが記載されております。ご覧いただけると幸いです。（李 江嵐 記）

《議会広報特別委員会》

委員長 丸山忠男 副委員長 李 江嵐 吉田将克 浦上雄次 富士根信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 〈URLアドレス〉 <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

〈Eメールアドレス〉 gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画



Facebook